

# 須賀川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度実績評価

## 1 評価の概要

本市では、人口減少社会に向き合い、地域経済縮小を克服するため、平成27年10月に「須賀川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、総合戦略)を策定しました(計画期間:平成27～31年度の5年間)。

この総合戦略においては、4つの基本となる柱のもと、10の施策戦略(20の数値目標)と32の基本事項(53の重要業績評価指数(KPI))について、PDCAサイクルによる検証を行い、地方創生につなげていくため、平成28年度の実績について評価を取りまとめました。

※重要業績評価指標(KPI): Key Performance Indicatorの略称 事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標(目標値)




## 2 評価の結果

施策戦略の数値目標	向上	横ばい	低下	合計
① 産業力を強化するまちづくり	3	0	3	6
② すかがわの宝を生かしたまちづくり	3	2	0	5
③ 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり	1	3	0	4
④ 健康な暮らしを守るまちづくり	1	4	0	5
合計	8	9	3	20
割合	40%	45%	15%	100%

基本事項のKPI	向上	横ばい	低下	実績値なし	合計
① 産業力を強化するまちづくり	11	2	7	0	20
② すかがわの宝を生かしたまちづくり	3	3	3	3	12
③ 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり	9	1	1	0	11
④ 健康な暮らしを守るまちづくり	4	5	1	0	10
合計	27	11	12	3	53
割合	50.9%	20.8%	22.6%	5.7%	100%

### 【成果指標の傾向について】

成果指標については、平成31年度の目標値達成に向けて、平成28年度の実績値が総合戦略策定時の基準値(基本的に平成27年度)に対してどのような進捗状況にあるかを「矢印の向き」で示しています。

数値目標・KPI	進捗状況	基準
		目標値達成に向けて、向上しているもの
		目標値達成に向けて、横ばい※であるもの
		目標値達成に向けて、低下しているもの

※市民アンケート等の各種アンケートによる数値目標・KPIについては、統計誤差を踏まえて実績値と基準値の差が±3%の範囲内のもは「横ばい」とした。

## 3 検証

平成30年1月22日に市内各界各層の代表者などの外部有識者で構成する須賀川市まちづくり市民懇談会を開催し、実績に対する客観的な検証を行い、多くの意見をいただきました。

今回の評価結果と外部有識者の意見を踏まえながら、平成31年度の目標達成に向けて、今後も計画的に地方創生を推進していきます。

## 4 4つの「基本となる柱」の総合評価

### ① 産業力を強化するまちづくり

#### 【施策戦略の数値目標】

多様な就業環境の創出と人材育成支援に関する数値目標は、有効求人倍率が1.13倍から1.07倍に下降するなど低下傾向にあるため、安定した雇用と新たな雇用創出を図る必要がある。他の数値目標は、農業所得にかかる個人住民税所得割額が72,456円から83,915円に増加して目標値を達成するなど、ほぼ向上で推移しており、概ね順調に進展している。

#### 【基本事項のKPI】

高齢者就業率(65歳)が18.6%から24.2%に上昇するなど、KPIの65%が向上ないし横ばいとなっている。企業誘致や農産物の売上、既存企業の支援強化等の分野のKPIは、農産物の売上額(JA)が48.8億円から44.5億円に減少するなど低下傾向にあるため、それぞれの項目において分析を行いながら、一層の向上に取り組む必要がある。

#### 【まちづくり市民懇談会での意見】

- ・JT跡地には、市に雇用の面、産業の面で効果が上がる形で企業を誘致してほしい。
- ・企業誘致は着実に進めてほしい。働く場所を作ることが人口減少対策になると思う。
- ・少子高齢化や人手不足という状況の中、若者が戻ってくる施策を行ってほしい。
- ・須賀川産農産物のPRについては、行政と力を合わせて認定農業者会でも積極的に取り組んでいる。

### ② すかがわの宝を生かしたまちづくり

#### 【施策戦略の数値目標】

スポーツに親しんでいる市民の割合が37.6%から56.6%に増加して目標値を達成するなど、すべての数値目標が向上ないし横ばいとなっており、概ね順調に進展している。

#### 【基本事項のKPI】

スポーツ大会・教室への参加者数(延べ)が19,011人から13,391人に減少するなど、スポーツ大会や俳句大会等への参加者数に関するKPIが低下しているため、参加者数の増加を図る必要がある。他の分野のKPIは、仮想都市「すかがわ市M78光の町」住民登録者数が5,279人から10,329人に増加するなど、向上ないし横ばいとなっており、概ね順調に進展している。なお、施設の建設工事中等の理由により、「実績値なし」となったKPIが3つある。

#### 【まちづくり市民懇談会での意見】

- ・円谷英二ミュージアムを効果的に活用してほしい。
- ・スポーツに親しんでいる市民の割合は向上しているが、スポーツ大会等への参加者数が低下している。市民のニーズを把握して、魅力的な内容の教室を開催すれば、参加者数も増えると思う。
- ・すかがわM78光の町への住民登録と須賀川サポーターズクラブをうまく活用する方法を考えてほしい。
- ・冬にもイベントを行うなど通年型の観光を充実させ、広域連携などにより県内外や外国人の観光客を増やしてほしい。
- ・上人壇廃寺跡の整備をはじめ、文化財の保存やPRに努めてほしい。
- ・公民館でのサークル活動や文化活動の参加を促し、まちの活力を担ってほしい。
- ・学生の活動や商業スペースにも空き家を活用するという使い方があっていいと思う。

### ③ 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり

#### 【施策戦略の数値目標】

安心して出産・子育てができる環境整備については、全ての数値目標が横ばいとなっているが、この地域で子育てをしたいと思う保護者の割合が97.2%から96.5%と非常に高い割合で推移しており、概ね順調に進展している。「小中一貫教育」須賀川モデルの推進については、全ての中学校区で9年間の体系的な教育課程を編成して実施しており、目標値を達成している。

#### 【基本事項のKPI】

放課後に安全に遊ぶ場所が確保されていると思う保護者の割合が43.3%から49.1%に増加するなど、ほぼ全てのKPIが向上しており、順調に進展している。

#### 【まちづくり市民懇談会での意見】

- ・地域に合った小・中一貫教育を進めてほしい。
- ・小・中一貫ありきではなく、子どもたちの学力や体力を向上させることが大切である。
- ・新しい学校と古い学校では設備面で色々と差がある。古い学校をすぐに改築することはできないと思うが、水回りだけでも改善してほしい。
- ・安心して出産できる環境づくりは継続してほしい。

### ④ 健康な暮らしを守るまちづくり

#### 【施策戦略の数値目標】

健康だと感じている市民の割合が82.5%から81.5%と高い割合で推移するなど、全ての数値目標が向上ないし横ばいとなっており、概ね順調に進展している。

#### 【基本事項のKPI】

福祉ボランティア登録者数が2,596人から3,242人に増加するなど、健康福祉や環境等に関するKPIの90%が向上ないし横ばいとなっており、概ね順調に進展している。

#### 【まちづくり市民懇談会での意見】

- ・救急車が絡む疾患（脳卒中や心筋梗塞など）の場合、須賀川市内の医療機関では対応できず郡山市内の病院へ搬送されることが多いので、須賀川市内の医療機関で対応できるようになってほしい。
- ・健康診断の受診率向上のためには、年代に応じた受診のフォローが大切であると考えている。
- ・一人暮らしで身寄りのない高齢者への対応が必要である。


### ⑤ その他

#### 【まちづくり市民懇談会での意見】



- ・常に市民の声を聴き、行政ができることと民間ができることを具体化しながら、総合戦略の施策のPDCAを推進してほしい。
- ・成果目標値の更なる向上を図ることが求められる。総合戦略や新総合計画の中で実現してほしい。
- ・評価の仕方は色々あるが、問題点をしっかり把握して、実感の伴う評価と分析をお願いしたい。

## 基本となる柱① 産業力を強化するまちづくり

### 施策戦略(1) 本市の強みを最大限に生かした地域産業構造の強化

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
製造品出荷額	1,396億円(H25年度)	1,479億円(H26年度)	2,000億円	
<p>【数値目標の傾向】 製造品出荷額は増加傾向にあり、商工業の活性化が図られている。 ※国において工業統計調査の実施時期が変更されたことに伴い、平成28年度の工業統計調査結果は、平成30年2月に公表予定である。</p> <p>【施策戦略の総合評価】 既存企業の育成支援や、新規産業の創出・育成に関する取り組みにより、製造業従業者数や市内工業事業所の異業種交流研究参加企業数などといったKPIは向上している。企業誘致を推進すると、産業力の一層の強化と雇用創出が期待できる。</p>				

### 基本事項① 企業誘致の推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
誘致企業数	3社(H24～26年度)	0社(H27～28年度)	8社(H27～31年度)	
誘致企業による雇用数	57人(H24～26年度)	0人(H27～28年度)	160人(H27～31年度)	
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 立地意向調査回答企業等に対する企業訪問、現地案内を実施したほか、継続協議となっている企業への訪問等を実施し、企業誘致の推進を図った。 企業誘致に係る本市の奨励金制度が、県内最大で、全国トップクラスであることを更に周知するとともに、従業員確保に向けて県やハローワークと連携しながら、企業の立地促進を図っていく必要がある。</p>				




## 基本事項② 既存企業の育成支援

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
製造業事業所数	167社(H25年度)	172社(H26年度)	180社	
製造業従業者数	6,858人(H25年度)	6,964人(H26年度)	7,000人	
<p>【主な取組状況、成果、課題等】            須賀川市工業製品認定制度による販路開拓の支援や中小企業の情報発信手段構築のためのホームページ開設支援等を行い、既存企業の育成支援を図った。            郡山地域テクノポリス推進機構など関係機関と連携し、企業ニーズに応じた支援策の実施・拡充を図っていく必要がある。            ※国において工業統計調査の実施時期が変更されたことに伴い、平成28年度の工業統計調査結果は、平成30年2月に公表予定である。</p>				





## 基本事項③ 新規産業の創出・育成

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
市内工業事業所の異業種交流研究参加企業数	6社(H26年度)	9社	10社	
市内工業事業所の機構活用件数	15件(H26年度)	42件	30件	<b>目標値達成</b>
<p>【主な取組状況、成果、課題等】            郡山地域テクノポリス推進機構などとの広域連携を通して、企業間連携や研究開発など、新規産業の創出・育成を図った。            郡山地域テクノポリス推進機構における企業支援内容について、ホームページへの掲載や技術コーディネーターによる企業訪問などにより、周知を図っていく必要がある。</p>				

## 施策戦略(2) 農業の多様な担い手の育成・強化と地域特産物ブランド化の推進

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
耕作面積	6,369ha(H22年度)	6,079ha(H27年度)	6,369ha	
農業所得にかかる個人住民税所得割額	72,456円	83,915円	80,000円	 <b>目標値達成</b>
人・農地プラン策定地区数	2地区(H25年度)	9地区	17地区	
<p><b>【数値目標の傾向】</b> 耕作面積は減少しているものの、農業所得にかかる個人住民税所得割額は増加している。地域特産物ブランド化の推進が着実に図られている。</p> <p>集落に対する「人・農地プラン」策定の支援を図っていく必要がある。</p> <p><b>【施策戦略の総合評価】</b> 多様な担い手の育成・確保や安全・安心な農産物の提供と6次産業化支援については、認定農業者数やたけんぼの売上額(JA直売所)などKPIが向上しているものが多く、進展がみられる。</p> <p>農産物の生産振興については、KPIとして設定した農産物等の売上額(JA)が減少しているため、地域の特性を生かした農産物のブランド化などにより、更なる農産物の生産振興を図る必要がある。</p>				

### 基本事項① 多様な担い手の育成・確保

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
認定農業者	324人(H26年度)	374人	360人	 <b>目標値達成</b>
認定就農者数	12人(H26年度)	12人	15人	
担い手への農地利用集積面積	518ha(H26年度)	1,865ha	743ha	 <b>目標値達成</b>
耕作放棄地面積	510ha(H26年度)	515ha(H27年度)	506ha	
<p><b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 農業の多様な担い手の育成・確保を図るため、認定農業者の経営改善支援を行い、新規就農者を対象とした先進地視察や研修会を開催した。また、「人・農地プラン」の作成等により、農地の集積を進めた。</p> <p>就農の相談体制の充実や耕作放棄地の減少を図っていく必要がある。</p> <p>※担い手への農地利用集積面積のH28年度実績値は前年実績に当年の利用権設定面積を合算して算出(集積面積の累計であり解約による面積減は反映されていない)。この方法で算出したH26年度の農地利用集積面積は1,542ha。総合戦略策定時は県調査による担い手の借入面積により算出(新規借入、解約等を反映)。この方法で算出したH28年度の農地利用集積面積は658ha。</p>				





## 基本事項② 農産物の生産振興

重要業績評価指数 (KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
農産物等の売上額(JA)	48.8億円(H26年度)	44.5億円	49.0億円	↘
<b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 新規需要作物の調査研究や玄米と精米機のセット販売を行うとともに、農産物のPRイベントを開催し、農産物の生産振興を図った。地域の特性を生かした農産物のブランド化などにより、更なる農産物の生産振興を図っていく必要がある。				




## 基本事項③ 安全・安心な農産物の提供と6次産業化支援

重要業績評価指数 (KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
はたけんぼの売上額(JA直売所)	10.1億円(H25年度)	11.1億円	12.0億円	↗
放射性物質濃度検査における基準値を超えた検体の割合	2.15%(H25年度)	1.07%	0%	↗
米の全量全袋検査(スクリーニング検査)で25bq/kgを超えた袋数	29袋(H26年度)	9袋	0袋	↗
GAP取組数	1,244件(H26年度)	674件(エコファーマー) ※認証GAPは0件	1,244件	↘
<b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 安全・安心な農産物の提供を図るため、減農薬・減化学肥料栽培、有機栽培の取組み農家への支援を行った。また、農産物の放射性物質検査を行った。 震災後の風評被害の影響で大幅に減少したエコファーマー認証取得者の増加や認証GAPの取組を図っていく必要がある。				

### 施策戦略(3) 多様な就業環境の創出と人材育成支援

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
有効求人倍率	1.13倍(H26年度)	1.07倍	1.20倍	
就職率	45.5%(H26年度)	40.1%	50.0%	
<p>【数値目標の傾向】 管内の有効求人倍率は県全体の有効求人倍率よりも若干低い傾向が続いており、就職率も下降傾向にあるため、安定した雇用と新たな雇用創出を図っていく必要がある。</p> <p>【施策戦略の総合評価】 多様な就業支援の推進については、高齢者就業率(65歳)や求職者スキルアップ補助金受給者の就職件数などKPIが向上しているものが多く、進展がみられる。 広域連携などによる既存企業の支援強化については、KPIとして設定した人材育成関連研修参加者数が減少しているため、企業に対して一層のPRを行い、研修参加者数の増加を図っていく必要がある。 起業家などに対する支援強化については、引き続き目標の達成を目指し、創業支援等の取り組みを図っていく必要がある。</p>				

#### 基本事項① 多様な就業支援の推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
高齢者就業率(65歳)	18.6%(H22年度)	24.2%	20.0%	 <b>目標値達成</b>
就職ガイダンス参加者の就職件数	6人(H26年度)	3人	8人	
求職者スキルアップ補助金受給者の就職件数	21人(H26年度)	25人	25人	 <b>目標値達成</b>
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 多様な就業支援の推進を図るため、概ね55歳以上の求職者を対象にした就職面接会や、地元企業と学生を対象にした就職ガイダンスを開催した。また、求職者が再就職に当たって必要な資格取得に要した費用の一部を補助した。 求職者に対する効果的な支援を実施していく必要がある。</p>				



**基本事項② 広域連携などによる既存企業の支援強化**


重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
人材育成関連研修参加者数	130人(H26年度)	58人	200人	↘
<b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 市内の中小企業が実施する人材育成研修費用に対する一部補助を行い、既存企業の支援を図った。 企業に対してきめ細かくPRし、申請企業や研修参加者数の増加を図っていく必要がある。				

**基本事項③ 起業者などに対する支援強化**

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
創業支援事業を活用して創業した人数	4人(H26年度)	4人	6人	→
<b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 創業塾やセミナーなど特定創業支援事業を実施する事業者に対する補助のほかに、創業希望者等に対する支援制度を創設し、起業者への支援を図った。				

## 基本となる柱② すかがわの宝を生かしたまちづくり


### 施策戦略(1) 特撮文化拠点都市の構築とブランド発信力の強化

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
交流人口(観光客入込数)	54.8万人(H26年度)	57.5万人	100万人	
<p>【数値目標の傾向】 観光客入込数は少しずつ増加しており、本市の観光資源の充実や情報発信ツールの充実が図られている。</p> <p>【施策戦略の総合評価】 地域ブランド力の発掘については、KPIとして設定した地域ブランド力活用補助事業利用者数が増加傾向にある。</p>				


### 基本事項① 新たな観光交流拠点((仮称)円谷英二ミュージアム)の整備

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
(仮称)円谷英二ミュージアム来館者数(延べ)	—	—	20万人	実績値なし
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 平成30年度中の開所を予定している。</p>				


### 基本事項② 地域ブランド力の発掘

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
地域ブランド力活用補助事業利用者数	—	7事業者	10事業者	
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 故円谷英二監督との関連性のあるキャラクターや市マスコットキャラクター等を活用した商品開発等に伴うロイヤリティ、商品開発費及び包装紙等作製費に対する一部補助を行い、事業者の販路拡大への支援を図った。</p>				



## 施策戦略(2) スポーツ振興によるイメージアップ戦略の展開

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
スポーツに親しんでいる市民の割合	37.6%	56.6%	40.0%	 <b>目標値達成</b>
<p>【数値目標の傾向】 スポーツ等に親しんでいる市民の割合は増加傾向にあり、市民誰もが、いつでも気軽にスポーツに親しむことができる環境整備が図られている。</p> <p>【施策戦略の総合評価】 大会・教室の参加者数というKPIが低下傾向にあるため、市民ニーズに応じた大会・教室の開催により、参加者数の増加を図っていく必要がある。 スポーツやレクリエーションに参加する機会が充実していると思う市民の割合は7割を超え、高い割合で推移している。</p>				

### 基本事項① スポーツによるイメージアップの推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
円谷幸吉メモリアルマラソン大会参加者数	2,912人	2,790人	3,500人	
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 円谷幸吉メモリアルマラソン大会を開催し、スポーツによるイメージアップの推進を図った。 2020東京オリンピックへ向けてPRを積極的に行い、大会参加者数の増加を図っていく必要がある。</p>				

### 基本事項② 生涯スポーツ活動の推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
スポーツ大会・教室の参加者数(延べ)	19,011人(H26年度)	13,391人	20,000人	
スポーツやレクリエーションに参加する機会が充実していると思う市民の割合	77.1%	77.0%	80.0%	
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 市民体育祭や円谷幸吉メモリアルマラソン大会、スポーツレクフェスタinアリーナ等を開催し、生涯スポーツ活動の推進を図った。 スポーツに親しむ機会を市民ニーズに応じながら提供し、スポーツ大会・教室の参加者数の増加を図っていく必要がある。</p>				

### 施策戦略(3) 文化の振興と新たな交流の推進

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
ふるさとの文化財に誇りと愛着を感じている市民の割合	69.3%	69.9%	73.0%	→
他自治体住民・団体等と交流したことがある市民の割合	40.2%	40.2%	50.0%	→
交流人口(観光客入込数) 再掲	54.8万人(H26年度)	57.5万人	100万人	↗
<p><b>【数値目標の傾向】</b>                      ふるさとの文化財に誇りと愛着を感じている市民の割合と他自治体住民・団体等と交流したことがある市民割合は横ばい傾向であり、文化の振興や交流の推進の機運を高めていく必要がある。</p> <p><b>【施策戦略の総合評価】</b>                      文化財を守ることを大切だと思う市民の割合は9割を超え、高い割合で推移している。                      俳句ポストや各俳句大会等への参加者数というKPIが大幅に低下しているため、俳句をさらに身近に感じてもらえるような教室を開催するなどして、参加者数の増加を図っていく必要がある。                      着地型観光や都市間交流の推進については、仮想都市「すかがわ市M78光の町」住民登録者数と須賀川サポーターズクラブ会員数というKPIがともに向上しており、順調に進展している。</p>				

#### 基本事項① 地域に根ざした文化の振興

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
文化財を守ることを大切だと思う市民の割合	97.1%	96.4%	98.0%	→
俳句ポストや各俳句大会等への参加者数(延べ)	9,514人	10,085人(投句者数等) 4,429人(参加者数)	10,000人	↘
<p><b>【主な取組状況、成果、課題等】</b>                      文化財の修繕や活動支援、説明板の修繕や新設等を行った。また、俳句ポストの運営や子ども俳句教室を開催し、文化の振興を図った。今まで以上に俳句を身近に感じてもらうための試みを実施し、俳句ポストや各俳句大会等への参加者数の増加を図っていく必要がある。</p>				

### 基本事項② 文化創造伝承拠点の整備

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
(仮称)文化創造伝承館の来館者数(延べ)	—	—	75,000人	実績値なし
【主な取組状況、成果、課題等】 基本設計の段階である。				

### 基本事項③ 新たな文化交流拠点((仮称)市民交流センター)の整備

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
(仮称)市民交流センター利用者数(延べ)	—	—	30万人	実績値なし
空き家を利用した芸術家数	—	0件	5件	→
【主な取組状況、成果、課題等】 市民交流センターの建設工事中である。 空き家、空店舗を若手芸術家などの発表、活動の場として活用できるよう環境の整備を図る必要がある。				

### 基本事項④ 着地型観光や都市間交流などの推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
仮想都市「すかがわ市M78光の町」住民登録者数	5,279人	10,329人	20,000人	↗
須賀川サポーターズクラブ会員数	780人(H26年度)	944人	1,000人	↗
【主な取組状況、成果、課題等】 仮想都市「すかがわ市M78光の町」WEBサイトや須賀川サポーターズクラブの管理運営を行い、本市の観光振興を図った。				

## 基本となる柱③ 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり

### 施策戦略(1) 安心して出産・子育てができる環境の整備


数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
この地域で子育てをしたいと思う保護者の割合	97.2%	96.5%	98.0%	→
子育てに係る相談体制や保育サービスが充実していると感じる保護者の割合	63.4%	62.4%	70.0%	→
<p><b>【数値目標の傾向】</b> 本市の「この地域で子育てをしたいと思う保護者の割合」は9割を超え、高い値で推移しており、乳幼児期の子育て環境の充実が図られている。 子育てに係る相談体制や保育サービスが充実していると感じる市民割合は横ばいとなっており、多様な子育てニーズへの対応を図っていく必要がある。</p> <p><b>【施策戦略の総合評価】</b> 家庭や地域社会の教育力の向上、幼児教育・保育の充実、子育て支援体制の充実については、放課後に安全に遊ぶ場所が確保されていると思う保護者の割合などすべてのKPIが向上しており、順調に進展している。 子ども医療体制の強化については、産科・小児科及び周産期医療に対応できる病院数を維持している。</p>				

### 基本事項① 家庭や地域社会の教育力の向上



重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
放課後に安全に遊ぶ場所が確保されていると思う保護者の割合	43.3%	49.1%	70.0%	↗
<p><b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 大東児童クラブ館を整備、開設したほか、第三西袋児童クラブ館を会議室を借りて開設し、放課後における児童の受け皿の拡大を図った。</p>				




### 基本事項② 幼児教育・保育の充実

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
認定こども園、幼稚園、保育所の利用率	62.4%	68.2%	68.0%	 <b>目標値達成</b>
【主な取組状況、成果、課題等】 大東こども園を新設し、子どもの成長の変化に対応し、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育・保育の充実を図った。				



### 基本事項③ 子育て支援体制の充実

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
児童クラブの利用者数	1,034人	1,078人	1,492人	
子育て支援センター設置数	6施設	7施設	8施設	
【主な取組状況、成果、課題等】 大東児童クラブ館を整備、開設したほか、第三西袋児童クラブ館を開設するとともに、大東こども園内に子育て支援センターを新たに設置し、子育て支援体制の充実を図った。				



### 基本事項④ 子ども医療体制の強化

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
産科・小児科及び周産期医療に対応できる病院数	2施設	2施設	2施設	 <b>目標値達成</b>
【主な取組状況、成果、課題等】 福島県立医科大学に周産期及び小児医療に関する寄附講座を設置し、研究の一環として国立病院機構福島病院と公立岩瀬病院へ産婦人科医・小児科医の派遣を受けることで、子ども医療体制の強化を図った。				

## 施策戦略(2) 「小中一貫教育」須賀川モデルの推進

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
9年間の系統的な教育課程を編成し、実施している中学校区の数	0中学校区	10中学校区	10中学校区	 <b>目標値達成</b>
全国学力・学習状況調査における自尊意識項目で「当てはまる」と肯定回答する児童生徒の割合	38.9%	36.9%	43.0%	
<p><b>【数値目標の傾向】</b> 市内全ての学校で小・中学校9年間で目指す児童生徒像を共有しながら教育活動の展開・推進が図られている。子どもたちの自尊意識を高め、一人ひとりの個性や能力をより一層伸ばしていくための対応を図っていく必要がある。</p> <p><b>【施策戦略の総合評価】</b> 9年間の一貫した学校教育への転換については、教員の指導力向上を図りながら子どもの学習定着度の向上を図っていく必要がある。教職員の資質・指導力の向上、家庭・地域との連携協働関係の強化については、教育に家庭、地域などが密接に連携していると思う市民の割合が4割を超えるなどすべてのKPIが向上しており、順調に進展している。</p>				

### 基本事項① 9年間の一貫した学校教育への転換

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
市総合学力調査による学習定着度(全国平均を超えた教科数)	10教科	9教科	14教科	
不登校児童生徒1,000人当たりの出現数	8.4人(H26年度)	8.3人(H27年度)	7.6人	
<p><b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 総合学力調査を実施し、その結果を踏まえて、学力や教員の指導力の向上を図った。全国平均を下回った教科(算数・数学)について、さらに指導の充実を図っていく必要がある。</p>				

### 基本事項② 教職員の資質・指導力の向上

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
教育研修センター専門研修を受講した教員の人数(延べ)	449人(H26年度)	471人	500人	
要請訪問による指導主事の派遣回数	64回(H26年度)	178回	130回	<b>目標値達成</b>
<b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 教育研修センターを設置して教職員の研修と教育に関する専門的・技術的な情報提供を行ったり、要請訪問による指導主事派遣手続を簡略化したりすることによって、教職員の資質・指導力の向上を図った。				

### 基本事項③ 家庭・地域との連携協働関係の強化

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
教育に家庭、地域などが密接に連携していると思う市民の割合	26.6%	44.3%	31.0%	<b>目標値達成</b>
学習支援に活用した地域人材ボランティアの人数(延べ)	1,461人(H26年度)	1,817人	2,400人	
<b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 各学校において地域人材をボランティアとして活用し、開かれた学校づくりや地域の学校としての役割を深め、家庭・地域との連携協働関係の強化を図った。				

## 基本となる柱④ 健康なくらしを守るまちづくり

### 施策戦略(1) 健康寿命の延伸と地域医療体制の充実

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
健康だと感じている市民の割合	82.5%	81.5%	85.0%	→
地域で支え合うしくみづくりができていると思う市民の割合	55.0%	52.1%	60.0%	→
健康で元気な高齢者の割合(自立高齢者割合)	81.1%(H25年度)	80.3%	82.0%	→
市内の医療体制に満足している市民の割合	76.0%	80.1%	85.0%	↗

#### 【数値目標の傾向】

健康だと感じている市民の割合や健康で元気な高齢者の割合(自立高齢者割合)は、高い割合で推移しており、健康づくりに対する支援の充実が図られている。

市内の医療体制に満足している市民の割合は向上しており、地域医療体制の充実が図られている。

地域で支え合うしくみづくりを構築し、地域コミュニティの維持・強化を図っていく必要がある。


#### 【施策戦略の総合評価】

地域保健活動の充実、生涯を通じた健康づくりの推進、充実した地域医療の確保については、この1年間に健康診断を受けている市民の割合が7割を超えるなどすべてのKPIが向上ないし高い割合で推移しており、順調に進展している。


福祉ネットワークの充実については、民生委員・児童委員への相談・支援の充実を図る必要があるが、福祉ボランティア登録者数は増加傾向である。

高齢者生きがい支援の推進については、生きがいを持って生活している高齢者の割合が8割を超えているが、引き続き老人クラブ活動支援など高齢者に対する支援の充実を図っていく必要がある。


### 基本事項① 地域保健活動の充実

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
健康のために「特に何もしていない」市民の割合	6.4%	1.8%(代替)	3.0%	 <b>目標値達成</b>
【主な取組状況、成果、課題等】 保健師・管理栄養士等による健康教育・健康相談・訪問指導や健康づくり推進員・食生活改善推進員の活動により、地域保健活動の充実を図った。				

### 基本事項② 生涯を通じた健康づくりの推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
この1年間に健康診断を受けている市民の割合	71.3%	72.8%	75.0%	
【主な取組状況、成果、課題等】 基本健診や特定健診、肺がん検診やYOU悠ドック等多様な健診を実施し、健康づくりの推進を図った。				

### 基本事項③ 福祉ネットワークの充実

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
民生委員・児童委員への相談・支援件数	1,415件(H26年度)	1,025件	1,500件	
福祉ボランティア登録者数	2,596人(H26年度)	3,242人	2,800人	 <b>目標値達成</b>
【主な取組状況、成果、課題等】 ボランティアセンターの運営を市社会福祉協議会に委託し、福祉ネットワークの充実を図った。 民生・児童委員による相談活動や見守りなどに対する支援の継続を図っていく必要がある。				

#### 基本事項④ 高齢者生きがい支援の推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
生きがいを持って生活している高齢者の割合	84.1%	81.8%	85.0%	→
地域活動に参加したことがある高齢者の割合	46.0%	43.3%	47.0%	→
<b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 老人クラブや高齢者サロンの活動支援を行い、高齢者の生きがい支援の推進を図った。 生きがいを感じる活動が多様化している中、老人クラブ活動の活性化を図っていく必要がある。				

#### 基本事項⑤ 充実した地域医療の確保

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
かかりつけ医を持っている人の割合	78.1%	80.6%	85.0%	→
<b>【主な取組状況、成果、課題等】</b> 休日夜間急病診療所の運営支援や公立岩瀬病院における医師招へい活動の支援を行うとともに、市ホームページや広報紙でかかりつけ医を持つ重要性の周知を行い、充実した地域医療の確保を図った。				



## 施策戦略(2) 循環する社会の構築

数値目標	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
自然環境の保全について満足している市民の割合	88.0%	87.9%	90.0%	→
<p>【数値目標の傾向】 自然環境の保全について満足している市民の割合は高い水準で推移しており、自然と共生した良好な環境の保全が図られている。</p> <p>【施策戦略の総合評価】 二酸化炭素削減量などのKPIが向上しており、環境に配慮した取り組みが順調に進展している。</p>				

### 基本事項① 地域内資源循環型まちづくりの構築

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
リユース、リサイクルを意識して行動している市民の割合	2.3%	3.3%	4.3%	→
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 ごみカレンダーの配布や菜の花プロジェクトの推進、資源回収団体への奨励金交付事業等により、地域内資源循環型まちづくりの構築を図った。</p>				

### 基本事項② 再生可能エネルギー等の利用推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
二酸化炭素削減量	2,622t-Co2	3,189t-Co2	5,568t-Co2	↗
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 一般住宅に設置する再生可能エネルギー等装置(太陽光発電システム等)に対し補助を行い、再生可能エネルギー等の利用促進を図った。</p>				

### 基本事項③ 広域連携の推進

重要業績評価指数(KPI)	総合戦略策定時	H28年度実績値	目標値	進捗状況
広域連携により新たに取り組んだ事業数	—	1事業	1事業	↗ 目標値達成
<p>【主な取組状況、成果、課題等】 地方創生推進交付金を活用した「若者の定着・還流しごとづくりプロジェクト」事業を福島県及び郡山市と連携して新たに取り組む、広域連携による地方創生の推進を図った。</p>				

【数値は実績値の取得年月日の違いにより、一部「まちづくり報告書」と異なります。】